

S I D R

滋賀県感染症情報

SHIGA Infectious Diseases Report

《週報》

第 4 巻第 34 号

第 34 週(8月 16日 ~ 8月 22日)

発行年月日:平成16年(2004年) 8月 27日

発行 :滋賀県立衛生環境センター内

滋賀県感染症情報センター

電話 077-537-3051 FAX 077-534-3936

1) 全数報告の感染症(1類~5類)

感染症類型	疾患名	報告数 (34週)	累積報告数		平成15年報告数	
			滋賀 (34週)	全国 (34週)	滋賀	全国 ^(*)
1類感染症	報告なし	0	0	0	0	0
2類感染症	細菌性赤痢	0	6	332	7	459
	腸チフス	0	1	39	0	60
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	0	16	2305	8	2635
4類感染症	E型肝炎 ^(*)	0	1	20		
	オウム病	0	1	31	1	44
	ツツガムシ病	0	0	97	2	380
	マラリア	0	1	39	0	77
	レジオネラ症	0	0	88	1	143
5類感染症	アメーバ赤痢	0	6	369	3	504
	ウイルス性肝炎	0	2	182	3	634
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	0	108	3	115
	後天性免疫不全症候群	0	4	728	8	949
	ジアルジア症	0	1	53	0	99
	梅毒	0	2	315	2	493
	破傷風	0	2	60	1	69
	急性脳炎	0	0	42	0	98

*1:平成15年報告数の全国報告数は、滋賀県で報告された疾患を対象としています。

*2: " 感染症法の改正前のためE型肝炎のみの集計はされていません。

2) 定点把握の対象となる5類感染症

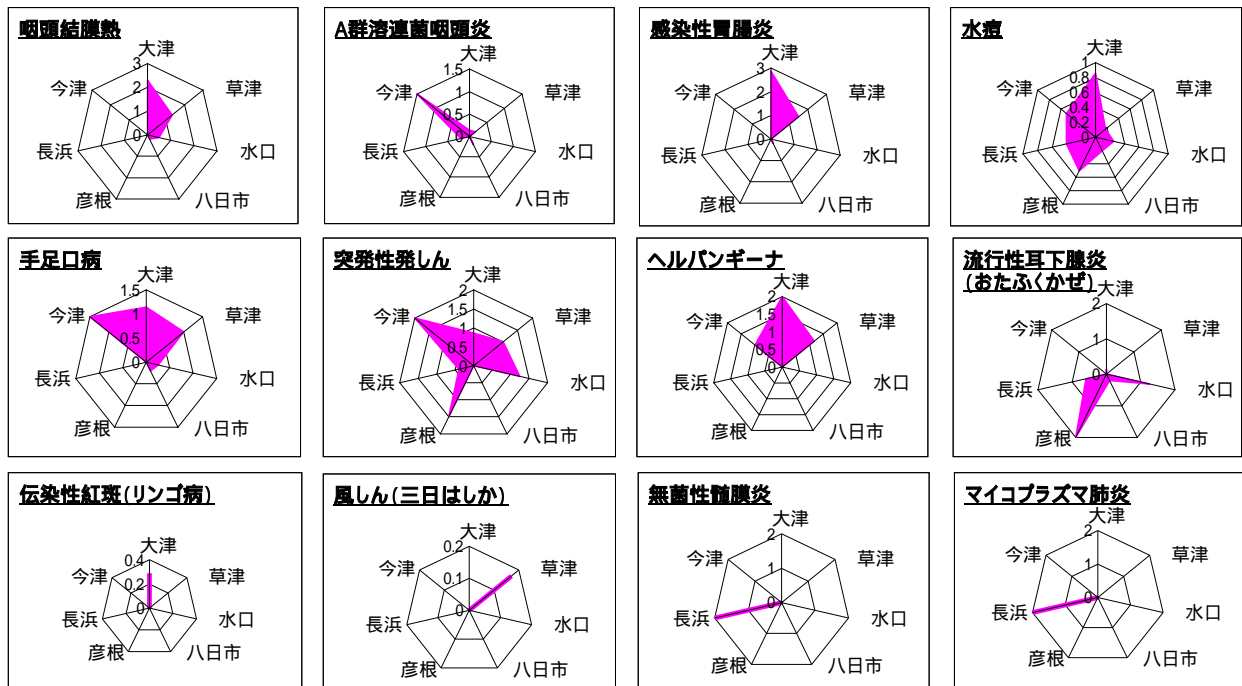
(1) 疾病別・週別発生状況

疾患名	定点当たり患者数 (前週より増加 前週と同じ 前週より減少)												
	29週			30週		31週		32週		33週		34週	
	(7/12~)	(7/19~)	(7/26~)	(8/2~)	(8/9~)	(8/16~)	30	31	32	33	34		
インフルエンザ	0	0	0	0	0	0							
RSウイルス感染症	0	0	0	0	0	0							
咽頭結膜熱	2.18	1.64	1.45	1.27	1.36	0.82							
A群溶血性連鎖球菌咽頭炎	0.52	0.15	0.18	0.27	0.18	0.21							
感染性胃腸炎	1.85	1.82	1.52	1.70	1.55	0.88							
水痘	0.45	0.36	0.36	0.21	0.33	0.42							
手足口病	0.52	0.36	0.73	0.79	0.36	0.58							
伝染性紅斑(リンゴ病)	0.03	0.06	0.06	0.06	0.12	0.06							
突発性発しん	0.76	0.70	0.73	0.67	0.52	0.88							
百日咳	0.03	0	0	0	0.09	0							
風しん(三日はしか)	0	0	0	0.03	0	0.03							
ヘルパンギーナ	2.61	2.06	2.03	1.30	0.61	0.70							
麻しん(成人麻しんを除く)	0	0	0	0	0.03	0							
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	0.91	0.30	0.48	0.58	0.39	0.55							
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0							
流行性角結膜炎	0.14	0.14	0.14	0.14	0.43	0.29							
細菌性髄膜炎	0	0.14	0	0	0	0							
無菌性髄膜炎	0.29	1.14	0.86	0.57	0.14	0.29							
マイコプラズマ肺炎	0.29	0.43	0.14	0.14	0.43	0.29							
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0	0	0	0	0							
成人麻しん	0	0	0	0	0	0							

(2)疾病別・保健所管内別発生状況

疾患名	定点当たり患者数(県・保健所管内別)								
	県	大津	草津	水口	八日市	彦根	長浜	今津	
インフルエンザ	0	0	0	0	0	0	0	0	
RSウイルス感染症	0	0	0	0	0	0	0	0	
咽頭結膜熱	0.82	2.29	1.33	0.50	0.20	0	0	0	
A群溶血性連鎖球菌咽頭炎	0.21	0.14	0.17	0	0.20	0	0.20	1.50	
感染性胃腸炎	0.88	2.86	1.50	0	0	0	0	0	
水痘	0.42	0.86	0.17	0.25	0.20	0.50	0.40	0.50	
手足口病	0.58	1.14	1.00	0.25	0.20	0	0	1.50	
伝染性紅斑(リンゴ病)	0.06	0.29	0	0	0	0	0	0	
突発性発しん	0.88	0.86	1.00	1.25	0	1.50	0.40	2.00	
百日咳	0	0	0	0	0	0	0	0	
風しん(三日はしか)	0.03	0	0.17	0	0	0	0	0	
ヘルパンギーナ	0.70	2.00	1.17	0	0	0	0	1.00	
麻しん(成人麻しんを除く)	0	0	0	0	0	0	0	0	
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	0.55	0.14	0	1.25	0.20	2.00	0.60	0	
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
流行性角結膜炎	0.29	0	0	0	0	1.00	1.00	0	
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
無菌性髄膜炎	0.29	0	0	0	0	0	2.00	0	
マイコプラズマ肺炎	0.29	0	0	0	0	0	2.00	0	
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0	0	0	0	0	0	0	
成人麻しん	0	0	0	0	0	0	0	0	

疾患別・保健所管内別発生状況(定点当たり患者数)



今週の発生状況:

保健所管内別の発生状況は上記のグラフに示すとおりですが、A群溶血性連鎖球菌咽頭炎は今津保健所管内でやや多く発生し定点当たり患者数は1.50となっています。流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)は彦根保健所管内で多く発生し定点当たり患者数は2.00となっています。また、風しん(三日はしか)の発生が草津保健所管内で見られます。上記のグラフ以外にも流行性角結膜炎の発生が彦根および長浜保健所管内において見られます。

- 全数報告感染症 -

滋賀県内の医療機関において、医師が感染症法で定められている一～四類および五類感染症に該当する患者を診断したとき医師は保健所に届出ることになっています。届出により、滋賀県内で発生している感染症法で定められた一～四類および五類感染症を把握することができます。これを全数報告の感染症といいます。

* 感染症法: 感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律

- 定点当たり患者数 -

感染症発生動向調査事業に係る報告のために、滋賀県が指定した「指定届出機関」を定点医療機関(定点)といい、一週間を単位として一カ所の定点から何人の患者が報告されているかを示したものです(患者報告数/定点医療機関数)。

例えば、一つの疾患(インフルエンザ等)について、一週間に53カ所の定点から総数53人の報告があれば、定点当たり患者数は1.00となります。

* 疾患により定点数は異なります。

3) 今週のトピックス

咽頭結膜熱の発生は減少傾向 滋賀県における風しんの発生状況

定点把握の対象となる5類感染症の発生状況は、先週(8月9日～8月15日)の報告数よりさらに少なくなっていますが、水痘、手足口病、突発性発しん、ヘルパンギーナ等の発生は増加しています。また、風しん(三日はしか)の発生が草津保健所管内から報告されています(詳細については、疾病別定点当たり患者数のグラフを参照)。

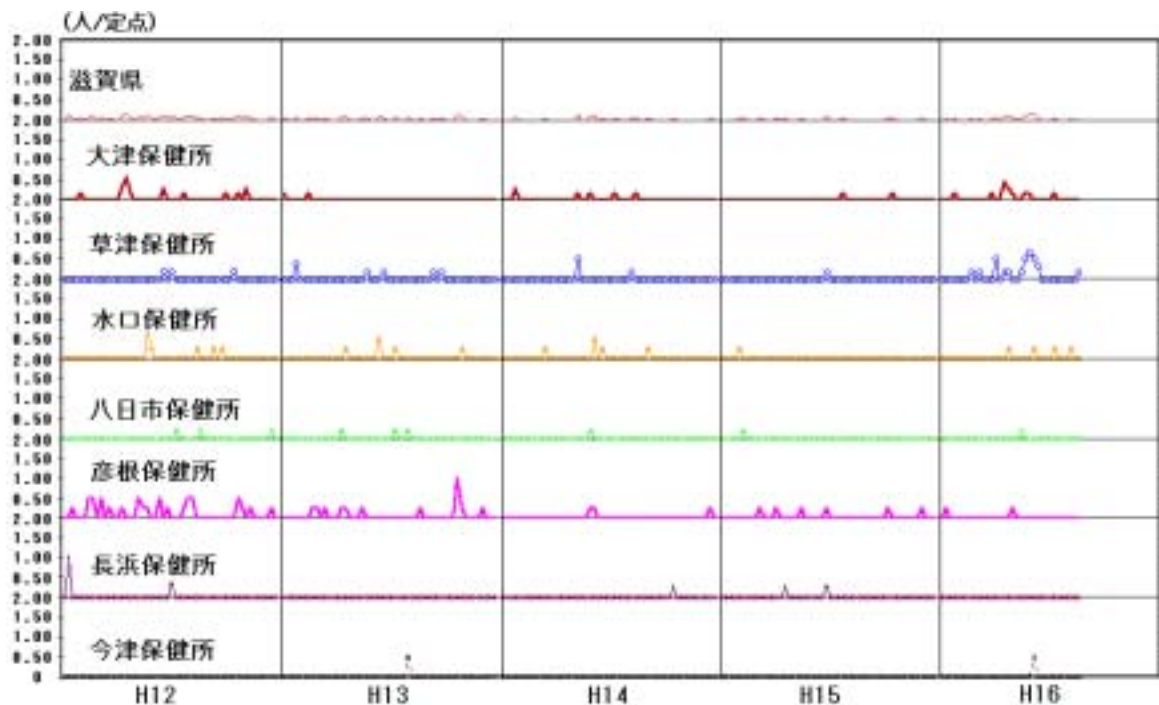
咽頭結膜熱については、定点当たり患者数に多少の増減がみられますが第30週(7/19～7/25)から第34週(8/16～8/22)は減少傾向を示しています。全国の発生状況についても同様の傾向を示しています。

水痘については、先週より増加し県内すべての保健所管内から報告されており、定点当たり患者数は大津保健所管内でやや多くなっています。

ヘルパンギーナについては、定点当たり患者数は先週よりやや増加し0.70となっていますが、昨年の同時期の定点当たり患者数 1.53よりもかなり少なくなっています。

風しんの保健所管内別発生状況(平成12年第1週～平成16年第34週, H12.1.3～H16.8.22, 滋賀県)

平成12年から平成15年の発生状況についてみると、各保健所管内とも散在性に発生しており彦根保健所管内における発生がやや多くみられます。平成16年第1週から第34週までの発生状況についてみると、大津、草津および水口保健所管内においてほぼ同時期に集中して発生しています。また、全国における風しんの発生状況についても平成16年は感染症法施行(平成11年4月)以降最も多く発生しています。

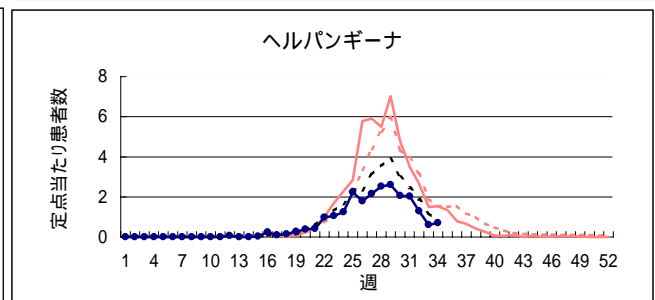
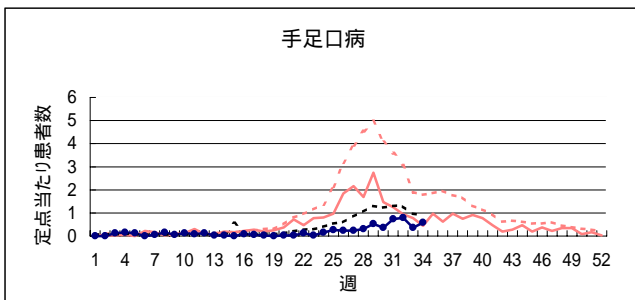
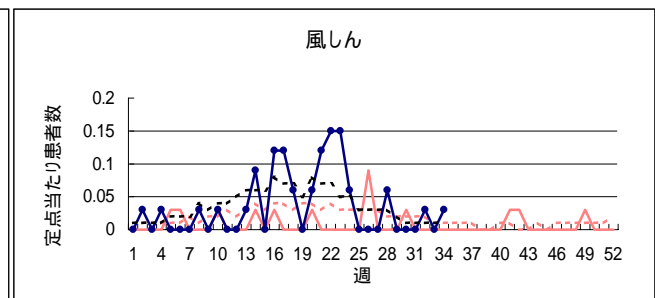
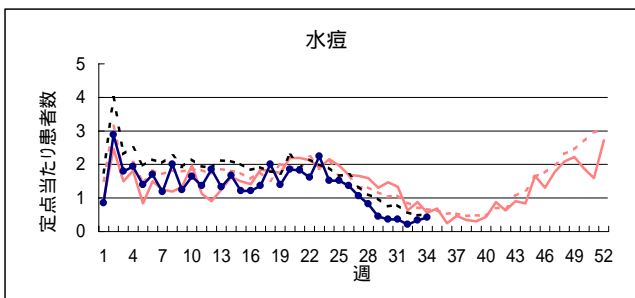
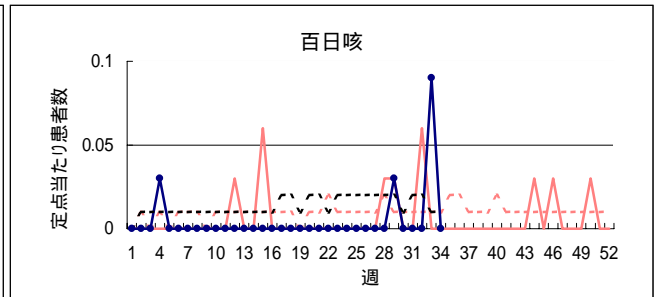
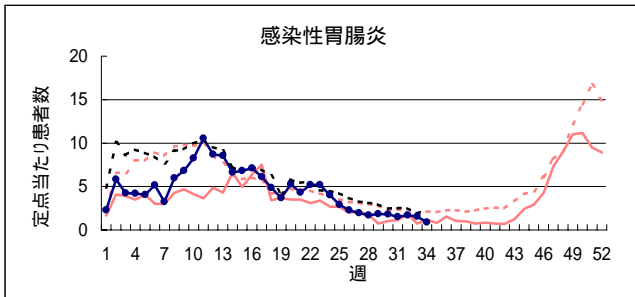
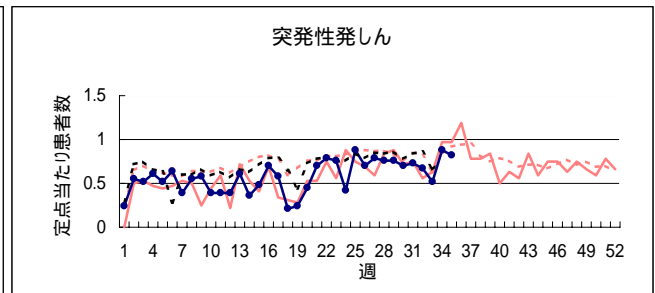
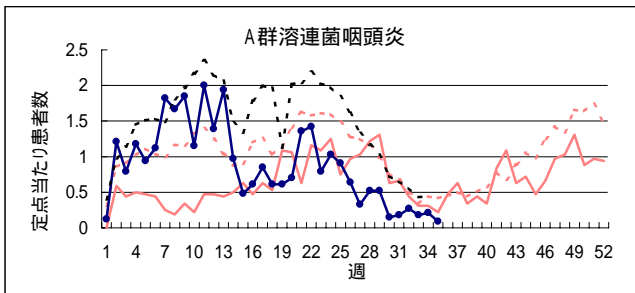
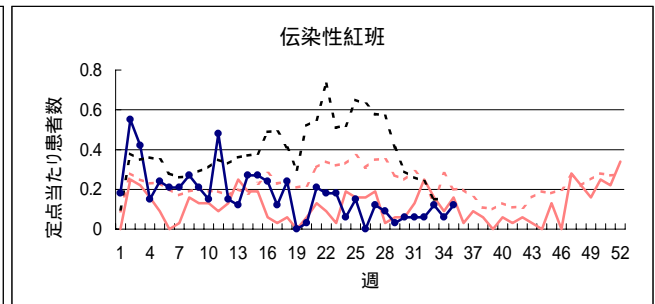
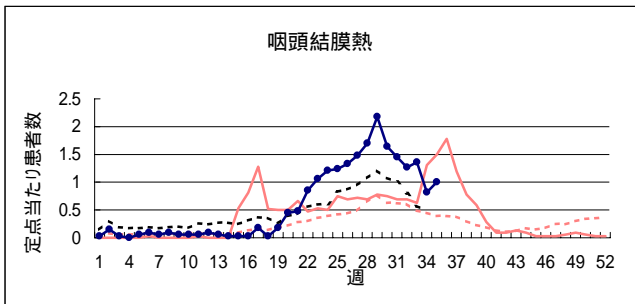
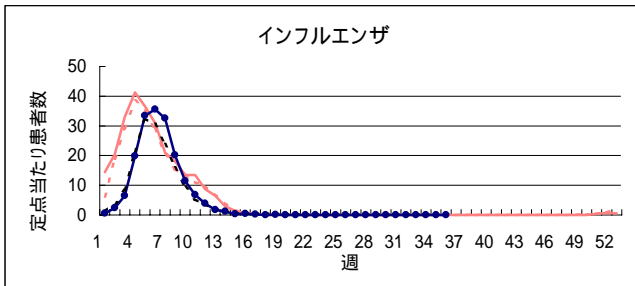


風しんの性別・年齢別発生状況(平成16年第34週, H16.8.16～H16.8.22, 滋賀県)



性別・年齢別発生状況についてみると男性では1歳、5歳、6歳、9歳および20歳以上に多く発生しています。また、女性では6ヶ月未満、12ヶ月未満、2歳および10～14歳に多く発生しています。

疾病別定点当たり患者数(平成16年第1週～第34週、H15.12.29～H16.8.22)



疾病別定点当たり患者数(平成16年第1週～第34週、H15.12.29～H16.8.22)

H15 〔 滋賀 ———— 全国 〕
 H16 〔 滋賀 ●——● 全国 〕

